

2018年度「研究者の横顔」 久芳 さやか先生

1. 研究者になろうとしたきっかけ

そもそも医師は研究者だと思います。

現在解決できていない問題に対して、解決方法を探る”研究”は常に視野に入っていると思います。

2. 助成研究の内容紹介

癌治療の一つに抗癌剤があります。

抗癌剤は高頻度に口腔粘膜炎を引き起こし、患者さんの生活の質(QOL)をおとします。

ステロイド含有含嗽薬でうがいを行う事で口腔粘膜炎を予防できるかどうかを、乳癌化学療法を施行される患者さんにご協力いただき臨床研究を行います。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

この試験でステロイド含有含嗽薬でうがいを行う事が、抗癌剤による口腔粘膜炎予防に有効であると証明されれば、

さらに多くの患者さんにご協力いただき検証試験を行います。

4. 全国のRFL関係者に一言

本研究にご支援をいただき、深く感謝いたします。

癌治療の向上のため、微力ながら努力してまいりたいと思います。